

【タイトル】

在南アフリカ大使館からの注意喚起（安全対策の徹底）

【本文】

クリスマスシーズンに向けて犯罪が増加する傾向にあります。日頃から安全対策を徹底し、十分注意してください。

南アフリカにお住まいの皆様及び旅行者の皆様へ
在南アフリカ共和国日本国大使館

毎年、この時期からクリスマスシーズンにかけて、南アフリカ全土で犯罪が増加する傾向にあります。特に、カージャックは近年高い比率で増加しており、最近では、ダーバンにおいてアジア系を狙ったと思われる、高速道路走行中に銃器を使用された強盗事案も発生しています（サービスエリア停車時に、犯人に狙われ追跡された可能性が高いとのこと）。

つきましては、以下の安全対策を徹底していただけますよう、お願いいたします。万一、事件・事故等に巻き込まれた場合は、在南アフリカ日本国大使館に連絡してください。

1 カージャック対策

（１）銀行取引及びショッピング後には、出発時に、複数人が乗車したまま待機している、あるいはこちらの様子を窺っている様な不審者（車）がいないか、出発後から追尾してくる車両はないかなど、周囲への警戒を怠らない。また、追尾車両を認めた場合には、警察署やモールなど、安全が確保できる場所に避難する。

（２）交差点は停車することなく通過できるように速度調整を心掛ける。また、停車する場合には、すぐにその場から離脱できるように、前者とのスペースを少なくとも１台分確保する。

（３）出発前にルートをよく確認し、犯罪多発ルートを避け、交通量が比較的多い、明るい道を選ぶ。

（４）身に覚えのない停止命令、他人からの声掛けには応じない。

（５）不特定多数の者が自由に出入り可能であるサービスエリアの利用は控えるとともに、ガソリンスタンドに併設されたＡＴＭ、コンビニも同様の理由で極力使用しない。また、ガソリンの給油は極力日中に行い、燃料は常にタンクの半分以上を心掛ける。

2 侵入強盗／空き巣対策

(1) 就寝時や外出時には、必ずアラーム式センサーを作動させる。また、エレクトリックフェンス、パニックボタンなどの警備機器が正常に作動するか、定期的に点検する。

(2) 就寝時には、全てのドアと窓を施錠（暑い時期でも窓を開けたままにしない）し、携帯電話、リモートキーは枕元に置いておく。

(3) 不審な物音や人影を認めた場合でも、むやみに表へ出ることなく、まずはパニックボタンを押下し、警備員が駆け付けのを待つ。

3 車上狙い対策

(1) 荷物は外から見える位置に置かずに、必ずトランク内に保管する。また、車内に貴重品を放置しない。

(2) 駐車する場合には、駐車監視員が有無を確認し、死角になるような場所には駐車しない。店内からも視認できる位置、または入口直近、照明設備の効いた明るい場所に駐車するのが望ましい・

(3) ジャミングによる被害報告例が増加傾向にあるので、リモートキーを過信せず、ロック後は自分の手と耳と目で施錠を確認する。

(4) 車内に複数待機したままの不審者がいないかなど、駐車後、出発時には周辺を確認する。

4 連絡先

Tel : +27 12 452 1500 代表：警備、領事